

△産業宣教 契約を握った産業人(イザ 6:13)	△レムナント伝道学 心を定めたレムナント (ダニ 1:8-9)	△核心 福音の力をあらかじめ持って現場に向かった者たち (ダニ 6:10)	△散らされた弟子たち 目に見えない 70 地教会を立てな さい(使 6:1-7)
<p>成功した人々は、中高生の時に入ったことがすべて。レムナントは、自分も分からない大きな答えが準備されている。</p> <p>□序論_答え 個人が答えを受ければ良い。教会で次世代を育てて世界宣教して生かさなければならぬ。</p> <p>1. まず知ること 1) <u>ネフィリム</u>体験 2) <u>ネフィリム</u>文化 3) <u>ネフィリム</u>経済 △代表的なところがヨーロッパ、アメリカだ。未信者がネフィリムという単語を知らずにサタンに捕われていて、教会がさらに分からない。これを分からなければ、現場の産業人は、仕える</p> <p>2. 見えない力 1) 霊的事実と原理-見えない力の中にある霊的な事実と原理を価値あるように見るべき (1) 3・[9]・3 -三位一体の神様がともに(みことば、救い、力)、御座の祝福(3 超越、3 のち、3 空前絶後)、3 時代(すべてを生かす) (2) 宇宙の力-「空中の権威を持つ者、天にいるもろもろの悪霊」に勝つ宇宙の力を与えてくださった。 (3) いやしの力 2) 祈りの原理 (1) 考え (2) たましい (3) 永遠 △考え、たましい、永遠とつながる。たましいがネフィリムか、神様かによって未来が左右 3) プラットフォーム・見張り台・アンテナ-この力を味えばプラットフォーム、見張り台、アンテナとなる。</p> <p>3. 確かな絵が CVDIP だ。 1) 答えが持続(編集)して出てくることを編集と言う。 2) 祈りの課題が持続的(設計)に出てくるのが設計だ。 3) 現場適用持続(デザイン)なることがデザインだ。</p> <p>□本論_三つ 1. 滅亡と未来 1) 神殿破壊の理由を知っている 2) 捕虜になった理由を知っている。 3) 未来(イザ 6:13、7:14) -神様が与えられた未来を知っている。レムナントに持続的に福音を話すのだ。すると、続けて答えが来る。</p> <p>2. みことば 1) 力(イザ 40:1-8)があって、すべてに勝つ。 2) 成就(イザ 40:10-26)みことばの成就について出てきた。 3) 主役(イザ 40:27-31)みことばの主役にイザ 40:27-31 の事が起こる。</p> <p>3. 使命者 1) イザ 43:19-21 神様の働きが起こるだろう 2) イザ 60:20-22 3) イザ 62:6-12 見張り人として立てた。</p> <p>□結論これから三つの時代がくる。知ってセッティングしなさい 1. AI 時代 2. 生命工学時代-病気になったので生命工学時代が来る。 3. 非対面時代-レムナントは非対面時代に備えなければならぬ。</p>	<p>□序論_やぐらの始まり 1. ポイント 1) 生活集中するポイント 2) それでこそ、学業集中するポイントができる。 3) 未来に対する絶対ポイントが見えること</p> <p>2. 祈りの基準 1) 霊的システムが作られれば世界福音化できる。レムナントの時に作ってこそ、世界を動かせる 2) 苦しみ、答え関係なく常に味わうシステム 3) 刻印(根、体質) -レムナントのとき、1、2 回したことが刻印される。</p> <p>3. サミット 1) 霊的サミット、今、祈れば必ず来る 2) 学業が霊的サミットの中で出て来るのを技能サミットという。 3) この二つが合わされば現場が見える。文化サミットだ。</p> <p>□本論_参考 1. 世界観 1) 世の国は衣食住しか分からない 2) サタンの国(暗やみ) -暗やみ文化、暗やみ経済 3) 神の国は一単語で話せば光だ。</p> <p>2. 理由 1) なぜ強大国なのか 2) なぜ 237 か国奴隷になっているのか 3) イスラエルを 237 に送っておいでその中にレムナント(RT)がいるように</p> <p>3. 心 1) プラットフォーム(答え) 2) 見張り台(応答) 3) アンテナ(解答)</p> <p>□結論_時刻表 1. 過去-土台 2. 今日-未来 3. 未来- 3・9・3 作品</p>	<p>あらかじめ福音の力を持って現場に行かなければならぬ。</p> <p>□序論_全体、土曜核心、講壇 <u>深い時間(毎日)</u> -必ず全体メッセージの流れ、核心、講壇のみことばを聞くことを握って一日に一回程度は深い時間を持つべき <u>答え(聖日)</u> -聖日には、時代的な答えが出てくる。そうすれば霊・肉ともにすべてが回復</p> <p>1. 祈りサミットあらかじめ(イザ 6:1-13) 「いつものように」祈りのサミットがあらかじめできた。 1) 御座の神様 2) セラフィムが仕え 3) 未来-「切り株が起こるようになる」 △霊、肉、すべての部分回復。一日に一度はしなさい。霊的問題がある人々は治そうとせずに、ここに入りなさい。神様の前で一生用いられる人々は、契約を握った。一生伝道するのは、祈りの答えがなければならぬ。</p> <p>2. みことばサミットあらかじめ 1) イザ 40:1-31 永遠に立つ神様のみことば、ただ主を待ち望む者は新しく力を得る。 2) イザ 43:19-21 荒地に水を、川に道があるようになって、獣も主をほめたええるようになる。 3) イザ 60:1-22 起きて光を放つだけで良い</p> <p>3. 伝道サミットあらかじめ 1) イザ 6:13 レムナント、聖なるすえ 2) イザ 7:14 この祝福を伝達 3) イザ 62:6-12 見張り人</p> <p>□本論_事件-捕虜(心) みことばを深く黙想して、力と答えを得なければならぬ。霊的力を得るときにいやされる。</p> <p>1. 証人として出て行くこと-レムナントのときに分かれば、必ず世界福音化するようになる。 1) 知っている者 2) 見た者 3) 持った者</p> <p>2. 世の中を生かしに行く-いつも味わうそのまま(契約を握っていれば答えが来る) 1) ダニ 3:8-24 3 人の青年 2) ダニ 6:10-22 ダニエル 3) エス 4:1-16 エステル</p> <p>3. 絶対計画を伝達しに行くこと 1) 捕虜預言 2) 捕虜理由 3) 世界福音化すること △なぜ神様が私をここに送られたのかだけ握りなさい。問題が起きたとき、待つて神様のみことばを握れば良い。</p> <p>□結論_旅程 1. 20 の戦略(マルコの屋上の間) - 20 の戦略はマルコの屋上の間が何か分かれば始まる。 2. 12 使徒(副教役者)立てた理由-教会の副教役者の重要性を知るようになる 3. 70 人(重職者)弟子を立てたこと- 70 倍の祝福と重職者が何か分かるのだ 4. 237 を知っていること=すべての国の人々 5. 5000 種族に行くこと=地の果て</p>	<p>□序論_神様は誰(パウロ)にこの(目に見えない 70 地教会)祝福を任せられるのか。この(使 6:1-7)契約を受けた以降パウロという人物が現れた。</p> <p>1. 使 13:1-4、16:6-10、19:1-7(使 2:1-47)伝道に出て行く前に答えから。霊的なセッティング 2. 行って福音だけ伝えたが、いやしから起こった-それも不治の病 3. 会堂、講堂、広場へ 4. ローマへ 5. イスパニヤへ こういう(序論 1~5)スケジュールをきちんと持っていた。</p> <p>□本論_どのようにするのか 1. 準備(はじまり) 1) 絶対契約(1・3・8)について行かなければならぬ。 2) 絶対計画が見えれば、そのままついて行けば良い。(マルコ)マルコの屋上の間に起こったこと 3) 絶対準備をしておいたこと(12、70 人)</p> <p>2. 過程 1) 迫害以降(使 6:1-7)さらに重要な働き人 2) 患難以降(使 11:19-30)世界福音化するアンテオケ教会 3) 事件以降(使 12:1-25)初代教会は始まりをってしまったこと</p> <p>3. 結果 1) 使 19:21 2) 使 23:11 3) 使 27:24 ここに参加したすべての重職者は時代的な答えを受けた。</p> <p>□結論_なぜ 1. ロマ 16:25 2. ロマ 16:26 3. ロマ 16:27 隠されたこと この(結論 1~3)三つの特徴は何か。隠されたことを与えるということ</p>

△区域メッセージ (第 8 週)
時空超越 25 の答え (使 1:3)

時空超越と 25 の答えは可能なのか。イエス様は「あらゆる国のの人々に行きなさい」「天と地のいっさいの權威がわたしに与えられている」「万民に行きなさい」と言われた。おばあさんひとりが孫娘に神様があなたとともにおられると言ったが、その話を聞いて世界を変えた人物がクロスビーだ。この答えを分かなければ、イエス様が神の国のことを 40 日間説明されたことも理解できない。

□序論_世界福音化

1. すべての民族 2. 万民 3. 地の果て

△これでなければ、どのようにすべての民族、万民、地の果てが当時に可能だったのか。

□本論

1. 条件

1) 三位一体の神様-三位一体の神様は時空超越される存在だ。今でもみことばによって創造の働きで、救いの働きで、目に見えない聖霊の働きで私たちとともにおられる。

2) みことば-私たちはできないが、神様のみことばによってできる。

3) 祈り-私たちはできないが、祈りはできる。

2. 神の国

1) プラットフォーム・見張り台・アンテナ-人々が来るしかないプラットフォーム、光を照らすといやされるしかない見張り台、神様のみことばと神様と通じるしかないアンテナが、私たちの中に臨む。

2) 3・9・3 -御座の祝福が現れて、世の中の人が知らないことが起こる。

3) 天の軍勢、御使い-この働きが起こる。

4) 答え、更新、機会-この祝福を受けて見ると、前はすべてが問題だったが、答えで、更新で、困難が機会だ。

3. 世界福音化-RT 7

このときから、時空超越する世界福音化が起こる。私たちの基準は伝道が一番簡単なのだ。その答えが「RT 7 人」だ。

詩 103:20-22
みことば-御使い、
みこころ-軍勢、
礼拝-軍勢、御使い

-これは祈りの答えを一番たくさん受けたダビデがした話だ。「御使いたちよ。みことばの声に聞き従い、みことばを行なう力ある勇士たちよ。主のすべての軍勢よ。みこころを行ない、主に仕える者たちよ。」サウル王が見たときは、何の価値もないことばだ。私たちが礼拝して祈るとき、天の軍勢、御使いが総動員されるのだ。

□結論

1. あらかじめ(答え) -あらかじめ答えが見える。神様はすでに答えをくださっているのだから、祈りなさいということだ。

2. いやし(根本) -さらに重要なのは、いやしが起こる。いやしは根本を治すことを言う。

3. 道(絶対) -次は道が見える。この道は、単に行っても良くて行かなくても良い道ではなく、絶対だ。

△聖日 1 部礼拝

主イエスを信じなさい。そうすれば、
あなたもあなたの家族も救われます (使 16:31-40)

□序論

1. 主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。

私に答えがないことが問題だ。教会に行ってみれば、かえって人々の話が信仰を持たないようにさせた。このみことばを読んで、人生の重要なのを考えて祈り

2. このとき見え始めた三つのこと

1) この地に苦難が来る理由と三つの国-世の国、サタン、神の国

2) 福音が光ということ-私とすべての人が、やみ(創 1:2)の中にいる。

+キリストが光として来られた。

3) 御座の祝福を味わって時空超越する祈り

3. このときから、私の光のやぐらを作った。-光のやぐらを作った人々

1) 祈りで光のやぐらを作ったヨケベデ

2) ハンナ-サムエル、ダビデという人物を立てた。

3) オバデヤ-エリヤ、エリシャを助けて 7 千弟子とドタンの町運動を起こした。

4) イザヤ-イザヤの契約を握った人々がバビロンで世界福音化

□本論-ルデヤ 1 人が作った光のやぐらを通してどんなことが起こったのか。

△「私の家に来てお泊まりください(使 16:15)」 -これが光のやぐらを作る始まり

1. わざわい時代を止める光のやぐら

1) 1 人が建てた小さいやぐらが世界を変える。

2) 光のやぐらがなければ、未信者のように生きるようになる。

3) 光のやぐらは今からくるわざわいを止める-AD79 イスラエルの滅亡、79 年ポンペイ爆発、313 年ローマがキリスト教公認

2. 教会を生かす光のやぐら

1) ピリビ教会の始まり-使 16:13 「祈る場に行くとき」、使 16:14 「主はルデヤの心を開いて」、使 16:15 「私の家に来てお泊まりください」 →世界のわざわい止めて教会を生かす光のやぐらの始まり

2) パウロが宣教するのを全面的に助けたピリビ教会

3) パウロが監獄でピリビ人への手紙を書いたが、ここに重要な役割をしたルデヤ

△光のやぐらを作れば本当に答えが来る。答えを受ければ話さなくても証人になって、家系、職場の人々がみな生かされる。

3. 次世代のために光のやぐらを作りなさい

1) 監獄に行ったパウロ-その日の夜に賛美して祈ったが、地震が発生

2) 囚人が逃げたと思って自殺しようとする看守を止めて答えを与えたパウロ(使 16:31) -光のやぐらを持っていれば、困難の中にいる人々が訪ねてくる。

3) ローマ市民権を遅れて出したパウロ-次世代のための光のやぐらを作った

□結論_光のやぐらを作りなさい

△光のやぐらを作った人々が韓国を世界福音化する国にした

△聖日 2 部礼拝/237 宣教委員会献身礼拝
会堂と広場(使 17:1-9)

光のやぐらを作りなさい。光があっても、やぐらが必須だ。どのように作れば良いのか。

会堂と広場 会堂はレムナントで、広場は経済現場だ。

237-見張り人 237 に合うやぐらを立てれば良い。そして、やぐらを立てたということは、みなさんを見張り人として立てたということだ。落胆もせずに、たわごと聞かずに、契約を握って答えを受けなさい。

プラットフォーム・見張り台・アンテナ 答え受ければ、みなさんがプラットフォームだ。見張り人は灯をつけておいたから、それを見て見張り台と言う。暗やみに死んでいく人が、灯を見て来て、その人も、この祝福を受けるように疎通させるのだ(アンテナ)。

□序論_今までなかった教会

1. 次世代に伝達する-24 の庭準備

1) 異邦人、子どもたち、祈りの庭がない。

2) 237・いやし・サミットがない。

3) 24 の庭がない。

2. 次世代が味わわなければならない-25 の庭

1) 霊的原理-今も Trinity の神様はみなさんとともに。主の使い、御使いが遣わされて、みなさんの働きに仕える

2) 祈り原理-御座の祝福を分かってこそ時空超越を分かる。

3) いやしの原理-滅びるしかないことを変えること

3. 次世代に永遠の庭を分かるようにすべき

1) 人間はなぜ難しいのか-暗やみ、むなしさ、混沌で、精神、心、考え、生活が分裂するのだ。だから、間違ったこと握る(執着)。そこに陥ってしまう(中毒)

2) ネフィリムの 12 戦略にみな陥ってしまった

3) 237 と次世代に Talent を発見させること。Heavenly Talent 奪い返すべき。私たちは Throne's Talent を回復すること。

□本論_光のやぐらを伝達すべき

1. 過去の暗やみの中にいた人々に

1) 強大国とすべての国はサタンの奴隷 2) 捕虜 3) 属国になっている。

2. 今日の暗やみ文化を変えるべき

1) パウロが自らの規定(序論)のとおり

2) 三つの安息日-多民族、RT どの期間いて戻って行くのか知るべき

3) そこで、キリストの当為性説明

3. 未来の暗やみをこわすように

1) 広場へ 2) ここで出てきた人物がギリシヤ人、貴婦人

3) そこでヤソンのような人物が出てきた。

□結論_光のやぐら再生産させなさい。

1. テサロニケ教会は信仰の模範になった。-モデル

2. カラーが重要-原色でなければならぬ。(I テサ 1:3)

1) 信仰は-働きが起こる。

2) 望みがある人-忍耐することができる。

3) 愛する人は-労苦することができる。

3. 方法-I テサ 1:5 力と聖霊の強い確信によって